



Nomura Research Institute Group

2019年8月2日

株式会社野村総合研究所

mPLAT が Oracle Cloud Infrastructure に対応

～エンタープライズ向けマルチクラウドを統合運用管理～

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、システム運用に必要な機能をクラウド型で提供するサービス「mPLAT¹（エムプラット）」に、オラクルのクラウドサービス「Oracle Cloud Infrastructure²（以下、OCI）」と連携する機能を実装しました。

mPLAT は OCI 環境の監視、ジョブ管理、IT サービス管理など、新たなシステム運用機能を実装しました。OCI は、エンタープライズ向けに最適化されたクラウドサービスとして、高い信頼性とスケーラビリティ、パフォーマンスを提供しています。mPLAT は、OCI に最適化された運用環境を提供することにより、エンタープライズ向けの特徴を最大化し、効率的なシステム運用を実現します。このことにより、OCI 以外のクラウドやオンプレミスも含めた“マルチクラウド”の統合運用を可能にします（図 1）。

OCI には、エンタープライズ向けのデータベースやアプリケーションの導入実績が豊富なオラクル製品の技術が採用されており、オンプレミス環境との高い互換性があります。mPLAT も同様にオンプレミスの運用管理で実績のある Senju Family 製品をベースとしております。mPLAT が OCI に対応することにより、システム監視やサービスデスクの一元化に加え、新規クラウドシステムと既存システムをまたぐジョブ管理なども統合的に行い、スムーズなクラウド移行と既存システムの有効活用を実現します（図 2）。

